

# お互いを理解し 共に進むために

一般社団法人 福岡市舗装協会

福岡市においては建設業の「働き方改革」推進に向けた取り組みが積極的に進められています。工事の発注者(市)・受注者(建設業)双方においてさらなる業務の効率化が求められています。地場建設業においては中長期的な担い手の確保と育成が急務の課題となっています。福岡市舗装協会は「働き方改革」を市と協働して進めさらに魅力ある地場建設業を目指します。

写真提供:福岡市

福岡市財政局技術監理部のご支援をいただき、市役所担当職員と建設業の現場代理人との「第2回意見交換会」を令和2年11月18日に実施しました。

●福岡市:財政局技術監理部の課長・係長・係員 8名

(財政局技術監理部)

公共工事を効率的・効果的に実施するための技術管理の総括・調整を行う。

●福岡市舗装協会:技術安全委員会(主に現場代理人) 7名

この意見交換会は地場建設業に携わる技術者が福岡市の施策をより深く理解し、自らの業務を適正かつ効率的に行える環境づくりを主な目的としています。

第1回目は平成29年11月に開催し、設計変更など直面する課題について意見交換しました。

今回は福岡市が新たに取り組もうとしている重要課題などについて意見交換しました。

主な議題は

年間を通して安定した工事量の確保

週休二日制の普及

複雑な工事関係書類の簡素化・統一化

ICT(情報通信技術)活用による工事現場の近代化

ASP(アプリケーションサービスプロバイダ)活用による情報共有システムの推進  
などについてです。

今後とも行政と建設業の実務者が抱える課題を共有し解決に取り組み、

行政施策の推進に努めてまいります。



や浸水想  
れている  
時に大き  
可能性が

に対処す  
建て替え  
による長  
施する。  
町画の策  
、この中  
設の整備  
間などを

計が計画  
担当して  
は来年2  
の後、内  
可するた  
公表は来  
見通しだ  
財政改革

大綱に示したスケジュールによると、来年度は詳細計画の策定を進める。

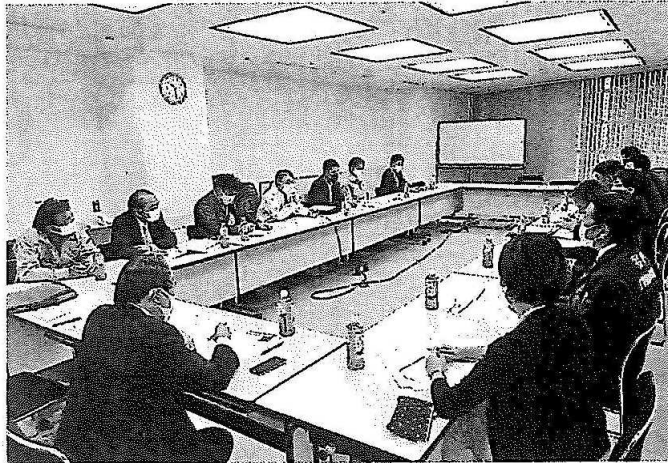
業、10年間が経過した時点で継続中の事業—などについて有識者が必要性

費・完成予定  
年度③事業進  
捗率の順。



億8200万円・9年度  
③59%  
▽湯山峠小崎線県営林

## ASPなどで意見交換 福岡市舗装協会と市財政局



(一社)福岡市舗装協会と福岡市財政局は、こ

のほど意見交換会を開き  
写真1、施工時期の平  
準化や週休2日制の実施  
工事、工事書類の簡素化、

ASP(情報共有システ  
ム)等の施策に係る現在  
の実施状況や今後の取り  
組み方針などの情報につ  
いて意見を交わした。

ら技術安全委員会のメン  
バーが、福岡市財政局か  
らは技術監理部の職員ら  
が出席した。

開会に当たり舗装協会  
の下川重光技術安全委員  
長があいさつ。市が舗装

意見交換会は、近年、  
各発注機関などで就業環  
境の改善や生産性向上等  
に係るさまざまな施策が  
進められていることを踏  
まえ、福岡市のそれら関  
連施策の取り組み状況や  
課題などについて、情報  
共有を図ること等を目的  
に開催したもの。

今年7月からシステムの  
活用を必須とした『ASP  
P』等を踏まえ、情報の  
使い方や伝え方が大きく  
進展しつつある—との感  
想を述べるとともに、今  
回の意見交換について

会場となった福岡市中  
央区のアクロス福岡の会  
議室には、市舗装協会か

「お互いにとっしたらう  
まく仕事が進むのか、な  
どについて話し合えれば

と考えている」とした。

意見交換会の議題は▽  
施工時期の平準化▽週休  
2日制の実施工事▽工事  
書類の簡素化▽ICT活  
用工事▽ASP▽CAL  
S/EC(公共事業支援  
統合情報システム)▽三  
者会議▽建設キャリア  
アップシステム—の8項  
目について。舗装協会が  
これら施策の実施状況  
や今後の方針について  
質問するとともに、運  
営上の課題への意見など  
を求め、市技術監理部も  
それら内容について回答  
した。

県  
道を  
変更  
見込  
では  
航路